



道路整備中期計画に対する市町村長意見

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

1. 災害に強い道路、緊急輸送路及び代替ルートの確保

本町は、平成15年十勝沖地震により27億円の被害を受けましたが、被災者の食料、水、災害復旧用資材及び大型重機の輸送においては、第一に道路の通行確保が最重要課題でありました。また、十勝川に架かる橋梁が被災し通行止めになった経緯を踏まえ、複数の代替ルートを整備する必要があります。

2. 基幹産業を発展させる道路

本町は、農業、漁業、林業を基幹産業とする第一次産業の町ですが、その生産物の全てが大型トラック輸送を利用するものであります。

特に農業においては、大規模経営に伴い大型機械化が進んでおり、ビート、馬鈴薯、小麦、牧草等の収穫用機械は、日本でも最大級のものであり、国道、道々はもとより町道の整備も重要な課題となっています。また、牛乳については、大型ミルクローリーで毎日各酪農家から音更町の工場まで搬出している状況にあり、安心安全な食品輸送に道路整備は欠くことのできないものであります。

3. 命を守る道路整備

本町の一次医療機関は、町立歯科診療所と内科については外来診療のみの町立医院で各医師1人体制で担っています。高度医療を受診できる総合病院は、本町から1時間を要する帯広市内のセンター病院に依存している現状であり、救急医療についてもそのほとんどがセンター病院に搬送しています。このことから日常の医療機関へのアクセスという点においても道路整備が大変重要と考えています。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

1. 交通安全に配慮した道路

本町は豪雪地帯であり、冬期間の除雪により道路が狭小化し、夏期間においては、観光等のサイクリング自転車の通行が多く交通安全の観点から、道路の拡幅整備を促進すべきであります。

2. 景観と沿道環境に配慮した道路管理

十勝は日本の農村地帯では唯一畑作専業地帯で、ヨーロッパ型の景色となっており重要な観光資源と考えられますが、道路敷地内に景観を阻害する雑木、草丈の高い雑草が繁茂しています。また、これらの雑草は沿道の畑に種子を飛散させ被害を与えるとともに害虫の発生も危惧されますので、適切な管理をすべきであります。

3. 道路の適切な管理

交通量の増大による路面の凹凸及び十勝沖地震等の自然災害による路面の老朽化、亀裂等が交通安全上支障があると思われるので、適切な維持管理をすべきであります。

平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

北海道豊頃町長 宮 口

